

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長
ロン D. バートン

次回例会予定 10月 2日
10月 9日

VOL. 51 No. 12(通算No. 2374)

2013年9月25日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
外 部 卓 話



写真提供: 大塚令昌会員

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



9月は新世代のための月間です

例会報告 VOL. 51 No. 11 (No. 2373) 9月18日(水)晴れ(司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話

片岡暎子様(川口西ロータリークラブ会長)

ビジター

卓話者 片岡暎子様(川口西ロータリー・クラブ会長)
片桐武美様(守谷ロータリー・クラブ会長)
橋本秀明様(守谷ロータリー・クラブ幹事)
中村和正様 (守谷ロータリー・クラブへ入会予定)

誕生祝

《ご夫人》古矢会員

幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ なし
例会変更通知 なし

諸報告

50周年記念誌委員会 五木田利明委員長

40周年以降ツウンバより来日の学生の名前を教えてください。それと写真もお願いします。

会長挨拶 熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。

台風18号が列島を縦断し、全国各地に大きな被害をもたらしました。ゲリラ豪雨や竜巻などで局所的な災害が発生した後、追い打ちをかけるような台風18号でした。

被災された地域の皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早い復旧をお祈りするところです。

さて本日は、川口西RCの片岡暎子会長をゲストにお迎えしております。

大変お忙しい中、卓話をお引き受けいただきありがとうございます。

会員を代表し感謝申し上げますとともに、会員一同ご歓迎申し上げます。

詳しいプロフィールは瀬戸会員よりご紹介いただけたと思いますが、長くRI日本事務局財団室長としてお仕事されてきた方でございます。今日はいろんなお話をさせていただけるということですので、楽しみしております。よろしく願いいたします。挨拶を終わります。

外部卓話 「ロータリーと私」 片岡暎子様

【プロフィール】



浦和第一女子高校卒業

東京大学文学部卒業

昭和49年、国際ロータリー東京文献事務所に入所

昭和58年、国際ロータリー日本支局の翻訳室長になる

1984年、1986年、1989年、1992年、1995年、1998年 手続要覧を翻訳

平成11年、日本サービス・センター西日本担当奉仕室長になる

平成12年、日本サービス・センター財団室長になる

9月は新世代のための月間です

平成 13 年、川口西ロータリー・クラブ入会
 平成 21 年、川口西ロータリー・クラブ退会
 平成 21 年、国際ロータリー日本事務局定年退職
 平成 22 年、川口西ロータリー・クラブ再入会
 2013-14 年度クラブ会長
 趣味: 日本舞踊(名取名: 藤間 章暎)、常磐津(名取名: 常磐津房実)



ロータリーと私

2013年9月18日
片岡暎子
(川口西ロータリー・クラブ)



自己紹介

中国唐の時代に、帝王がお妃と庭を歩いてたとき、杖で庭の一部を掘ったところ滾滾と水が湧き出でてきて、その水が万物を照らし出した、という故事があります。



自己紹介

2009年11月に国際ロータリー日本事務局を退職

最後の翻訳室長

最初の財団室長

本日はお招きいただき、ありがとうございます。埼玉県川口西ロータリー・クラブの片岡暎子です。瀬戸さんとリスボン国際大会でお目にかかり、本日ここで卓話するという縁につながりました。ロータリーのおかげで、知り合いを広める機会に恵まれます。私、2009年の11月に36年間勤めた国際ロータリー日本事務局を定年退職いたしました。在職中の大半は翻訳室に勤務しました。私は日本での最後の翻訳室長となりました。財団室を試験的にスイスと日本で作る、と言われ、最初の財団室長になりました。現在は世界7か所の事務局すべてに財団室があります。



大口寄付者へのインタビュー

翻訳室に在籍中
大口寄付者に取材



大口寄付者

ある大口寄付者は
医師は留学の機会が多いが看護師は留学の機会にそれほど恵まれない、だからその奨学金の財源として250,000ドルを寄付します。



大口寄付者

ある大口寄付者は
ロータリーはいろいろな夢や理想を語る。それを絵に描いた餅にしたいので寄付する



ロータリー・クラブ入会

財団室長るとき、埼玉県の川口西ロータリー・クラブに入会



2015-16 年度RI会長

スリランカのロンボ・ロータリー・クラブのR、R、ラビラ・ビンドラ氏が指名されました。

アルバート・アインシュタインの言葉を引用して会員増強を強調。
同じことを繰り返しながら違う結果を望むことを狂気と言う
Insanity doing the same thing over and over again and expecting different result



ロータリー・クラブ退会

退職に先だって、所属ロータリー・クラブを退会

財団室はロータリアンと接触する機会が多いため、ロータリー・クラブに入会しました。実際にクラブ会員になりますと、私が本から学び、頭で思い描いてきたロータリーとは異なる現実と直面しました。ロータリー・クラブは穂医師活動だけでなく、クラブの運営も必要です。ですから、会員増強に邁進せざるをえないのだと痛感しました。



決議23-34

1923年にセントルイス国際大会で採択された社会奉仕の決議、以後度々語句の修正

2010年版の手続要覧の114ページから116ページに掲載されています



決議23-34

2010年現在第1項
決議16-112

第3項
ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという理想との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―建設の奉仕の哲学であり、これは、「最もよく奉仕するもの、最も多く敬ばれる」という実践的な倫理原則に基づいたものである。



決議23-34

第1項
ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と、他の人のために奉仕しなくてはならないという義務感、また他の人に奉仕したいと言わねえきれない気持ちとの間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕するもの、最も多く敬ばれる」という実践的な倫理原則に基づいたものである。

9月は新世代のための月間です

2010年規定審議会は、決議23-34の第1項を奉仕の哲学の定義にしようと決議しています。決議ですから強制力はありません。これはロータリーの根幹であると信じていますが、仕事から離れて肩肘はらず訳文を読むとおかしくないかな、と思う箇所につづかりました。利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とありますが、これで意味が通じるだろうかと思いました。

利己的な欲求と、他の人のために奉仕しなくてはならないという義務感、また他の人に奉仕したいと言うおさえきれない気持ちではないか、翻訳室長だった時に直しておけばよかったと思っています。



決議23-34

2項
Primarily Rotary club is a group of representative business and professional people....
ロータリー・クラブは本来事業および専門職務に携わる人の代表である人々の集まりである



決議23-34

第4項
They who serve must act
奉仕するものは行動しなければならない



再入会の理由

必ずしも完璧なロータリアンでなくてもよいのでは
誘っていただけるのは、光栄なことである



ロータリーのホームページ

引退者をロータリーに引きとどめておくアイデア
仕事に引退はあってもロータリアンに引退はない。そのためにはロータリーの理念に共鳴していること、さらにある程度の健康と経済的余裕が必要



会員数減少対策

財政面：自ら汗を流すことで経費節約
ロータリー・カフェ：ロータリーへの熱意を伝染させる



ロータリー・カフェ

- ロータリーの友 5月号 25ページに投稿記事が掲載されています。
- 昔のが迎会合を現代風の名稱に変え、
- ロータリーの規定、最新ニュースなどを語り合う会合

ロータリーのホームページが8月下旬に一新されていますが、皆様、なれたでしょうか。ロータリーのホームページにロータリアンの意見やアイデアを募るフォーラムがあります。このフォーラムは英文のみですが、いろいろな人が書き込みを入れていました。





米メディアが見た東日本巨大地震

- 在米ジャーナリストの高濱 賢(たかはま けん)氏が書かれたもの
- コラムニスト、ニコラス・クリストフ記者
- 「Sympathy for Japan, and Admiration」(日本への同情、そして尊敬の念)。



米メディアが見た東日本巨大地震

- 申せ難いに当たって日本の一般市民が示した勇気性とシステム、規律正しさには驚くべきものがある。日本語に「Gaman」(我慢)という言葉がある。英語では同じ意味の言葉はないのだが、あえて言えば「Toughing it out」といった意味だろうか。日本の被災者は聞くべきGamanをもって、秩序を守っている。あの大地震の後、水や食糧を求める長い列に黙々と並ぶ。自分のことは物に置いて、他人を助ける。食卓から酒類を飲み出すなどといったことは論外だ。



我慢の英語

- bearing
- endurance
- patience
- tolerance (苦痛・困難などに対して被害を受けない程度)



Toleration

- Accept even if I don't like something
- たとえ不本意であったとしても受け入れる



Toleration

- 寛容



ポール・ハリス

私が、大きなコロシアムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして一言述べる機会に恵まれたとしたら、私は何のためらいもなく、あらん限りの声で叫ぶでしょう。『寛容！』と



寛容——広辞苑では

- 寛大で、よく人を許し受け入れること。とがめだてしないこと。
- 他人の罪科を厳しく攻めないというキリスト教の重要な徳目。
- 異端的な少数意見発表の自由を認め、そうした意見の人を差別待遇しないこと。



ポール・ハリスのエッセー

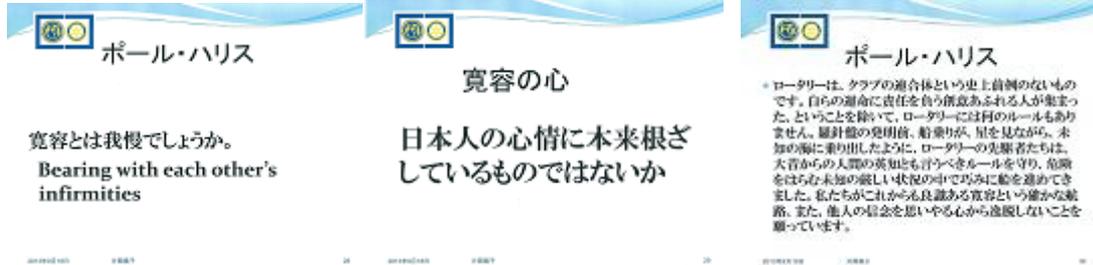
もし私たちのこのロータリーが、つかのまの存在以上のものたるべく運命づけられているとすれば、それは皆さん方と私が互いの欠点を我慢し合うことの大切さ、すなわち寛容の価値の何たるかを学び知ったからであると言えます。

ポール・ハリスが、1911年のロータリアン誌創刊号で、書いたエッセーでこう言っています。

9月は新世代のための月間です

私が、大きなコロシアムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして一言述べた機会に恵まれたとしたら、私は何のためらいもなく、あらん限りの声で叫ぶでしょう。『寛容！』と。

ポール・ハリスの寛容は、日本人の我慢と言う心情とそれほどかけ離れていないと思います。ですから、ロータリーが日本に広がり、根を下ろしたと思います。今回の地震で日本の我慢が際立ったということは、ロータリーの心も日本に生き続けているような気がしました。



ロータリーは、クラブの集合体という史上前例のないものです。自らの運命に責任を負う創意あふれる人が集まった、ということを除いて、ロータリーには何のルールもありません。羅針盤の発明前、船乗りが星を見ながら、道の海に乗り出したように、ロータリーの先駆者たちは、大昔からの人間の英知とも言うべきルールを守り、危険をはらむ道の厳しい状況の中で巧みに船を進めてきました。私たちガこれからも良識ある寛容という確かな航路、また他人の信念を思いやる心から逸脱しないことを願っています。

良識がよりどころという連合体は素晴らしいと思います。ロータリーの規定は分かりにくいとよく言われます。ですが、根底は良識に尽きると思います。

翻訳は着物の柄を裏から見るようなものだと言われます。おおよそのことは裏からでも分かります。初めて、この英文に接した時の感激をどう他の人に伝えられるか、難しいのですが、このときの気持ちが忘れられずロータリーと離れずにおります。

但し、ポール・ハリスがこの文章を書いたのは1911年である、ということも念頭におかなければなりません。この後、2度の世界大戦があり、国際団体のルールと言うものが築かれていきます。ロバートの議事規則です。ロータリーは随分複雑となり、変わりました。ロータリーの未来はどう進むかわかりませんが、原点はいつまでも忘れずにいたいと思っています。

ご清聴ありがとうございます。川口は近いとは言えませんが、時間があれば、ロータリー・カフェか、ロータリー・クラブ例会にお立ち寄り下さい。

出席報告 高須 薫副委員長

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 賜 暇 | メーク | 出席率 |
|------|------|------|-----|-----|---------|
| 54名 | 38名 | 16名 | 0名 | 11名 | 90. 74% |

ニコニコボックス 倉持功典委員長

入金計 ¥33,000 累計 ¥589,000

誕生祝御礼《ご夫人》古矢会員

片岡様、ようこそ。本日卓話宜しくお願ひ致します。 熊谷会員

片岡さん、本日宜しくお願ひします。 染谷(秀)会員

台風の被害が少なくて良かったス！ 山野井会員

片岡様ようこそ！財団を勉強させて下さい。 北村(仁)会員

例会訪問も終わりのよい各クラブ協議会に入りました。セクレタリーの皆様宜しく御協力お願ひ致します。

大塚会員

熊谷会長から写真頂戴致しました。ありがとうございます。 海老原会員

片岡様卓話宜しくお願ひします。 瀬戸会員

他人の悪口は“蜜の味”の錯覚です。人の欠点は我が身を映す鏡です。 青木(正)会員

9月は新世代のための月間です

木幡支店長さん、勘違い・ど忘れ、申し訳ありませんでした。 石塚(克)会員
木幡支店長、ふれあい会のドタキャン失礼致しました。 北村(英)会員
高須支店長、電話の台ありがとうございました。 倉持会員
例会欠席しました。 古矢・山牟田 各会員
例会を欠席致します。荒井が立替えました(笑)後日回収します。 荒井会員
例会欠席しました。早退します。 染谷(昭)会員

会報委員会

五木田利明委員長

青木清人副委員長

ロータリーの特別月間 Special Months in Rotary



9月 新世代のための月間(New Generations Month)

1996-97 年度から、従来の「青少年活動月間」の名称が変わり、「新世代のための月間」となりました。年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援するロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

10月 職業奉仕月間(Vocational Service Month)

RI理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。クラブに推奨される具体的活動には、①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、があります。

10月 米山月間(Yoneyama Month)

日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動を行います。そのために米山記念奨学生や地区役員・委員の卓話を聞いたり、さらに奨学生から提供される資料を基にクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されています。奨学会の目的及び事業・寄付及び表彰制度・奨学生の資格などは米山記念奨学会ホームページを参照ください。

11月 ロータリー財団月間(The Rotary Foundation Month)

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他(例えばロータリー財団国際親善奨学生など)が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

12月 家族月間(Family Month)

1995-96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年7月の同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジリアベ会長が、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。